

上ノ原「入会の森」の生態系サービス（自然の恵み）

ー利用(享受)の現状とポテンシャルー

上ノ原「入会の森」は生物多様性のホットスポット

- ～草原と森と水辺のモザイクを行き交う生き物たちのゆりかご
- ～人類の存立基盤たる生態系サービス(自然の恵み)の供給源

- ・水源の涵養 ～ミズナラ林 + ススキ草原(管理不芳な人工林より保水力大)
cf.遮断蒸発量:森林 20～25%に対し草原 5～10%。差し引き 15 ポイント分、
地面に到達する水の量が多い(総合地球環境学研究所・窪田准教授)
 - ・温暖化緩和 ～二酸化炭素吸収力 : ススキ=4.1t/ヘクタール アカマツ=3.9t/ヘクタール
(草の成長量に伴う CO2 吸収量/年は木材の 2 倍説もあり)
～茅葺屋根の状態ですら 10～30 年間にわたり二酸化炭素を固定
 - ・海の母親(恋人) ～ 栄養源としての鉄分(ミズナラ)+ 珪酸分(ススキ)の供給
～ 上ノ原(水源林)は川で海につながる魚付林!
 - ・日本の原風景 ～ かつて、国土面積の15%をしめていた草原→今や、1%
～ 童謡「兎追いし彼の山…」の山は見晴らしのきく草原
～ 桃太郎の「お爺さんは山に芝刈りに…」や鷹狩も、みんな草原!
～ 心のふるさと:元気の素、明日を生きる力の源
-
- ・文化財の森 ～茅葺重要伝建の屋根材の安定的供給と茅葺文化の伝承
 - ・有機野菜/果樹栽培用の肥料・マルチ材の供給 ～ イチゴ、ブルーベリー、など
 - ・住宅用断熱材の供給 ～ 板倉構法による仮設住宅(会津若松)の屋根用断熱材
 - ・原木キノコ栽培用材の供給
 - ・薪ストーブ用割り薪の供給、など
 - ・自然ふれあい/観察 ～環境学習の場
 - ・癒し/憩い/安らぎ/リクリエーション ～エコツーリズムの場
-
- ・貨幣価値に換算すると ? → 10年前、町の遊休地だった山林原野が50百万/年
 - ・かつての「入会」の知恵は資源の**地域循環型・持続的利用(=ワイズ・ユース)の典型**
 - ・大震災後の人類が**環境容量の範囲内で、自然と共生・存続していく知恵**が潜んでいる

無意識に享受(対価の支払いなし)
↑
↓
意図的利用

●藤原湖

利根川の上流にあり、利根川の治水と首都圏への利水を司る利根川水系 8 ダムの一つで、昭和 32 年最初に建設されたダムである。

藤原にある大きなダム4つ？ → 藤原(上ノ原はこの集水域)、須田貝、奈良又、矢木沢

利根川水系は東京の水需要の何割をカバー？ → 8 割！

藤原の気温、降雪量、積雪量？ → 約 9 度、降雪 15m、積雪 2~3m →これが水源！

湖底には奥州平泉の藤原一族が隠れ住んだという伝説が残る藤原郷の民家 160 戸が沈んでいる。

●玉原揚水発電

電力需要の少ない夜間の電気を使って下の藤原ダムの水をポンプでくみ上げて、上の玉原ダムに揚水する。昼の電力需要が逼迫すると、また水を落として発電する。

●平出集落

道の左下と右上の住居の姿かたちの違い？ →右上は水没集落から移転した新しい建物
水没した集落の数や戸数？ →5集落、約160 戸が犠牲に

比較的大きな集落なのは、藤原湖に沈んだ4つの集落の一部が移住してきたからだ。

1680年、江戸で両国橋を作ることになった。その材木を切り出すために、林姓を名乗る職人集団が岐阜の白川郷から平出に移り住んできた・

ダムに沈んだ集落から持ってきたという、いろんな「石」が並んでいます。「昔の人の、それぞれの切なる思いを込めて建てた石碑です。

石碑の隣には、「無事故地蔵と名付けられた地蔵の祠があり。そこには「地蔵十徳」と題した板が掲げてある。

●諏訪神社

長野県の諏訪大社の末社。藤原では郷社。例祭は毎年8月17日が当たり日で、獅子舞、余興、奉納相撲が行われる。

獅子舞は藤原が、入り、中郷、夜後などと呼ばれていた頃から各々違った獅子舞があって、今も上・中・下区が3年に一度の当番で奉納に当たっている。

獅子舞の舞台を見下ろす形で岡の上に観覧席があり、珍しい形式としてみなかみ町の重要文化財に指定されている。寛保2年建立。

舞台の屋根の茅は上ノ原の茅を寄贈し、使われている。

●雲越家住宅

江戸から明治にかけての山村で、一般的な「両妻兜造り」という様式で建てられた農家。

明治 30(1897)年生まれの雲越仙太郎が最後の主となったこの建物は、家だけでなく、雪ゾリ、食器、布団にいたるまで、実際に仙太郎が使用していた生活用品がすべて残されている。建物や展示品は、すべて国の重要有形民俗文化財に指定されている。

上ノ原のススキが茅葺き屋根の材料として使われている。

●藤原中区

藤原の人口(内65歳以上)？ → ピーク 1600 人から 480 人(50%弱~限界集落)

平成 21 年 4 月 262世帯 531人 平均年齢56歳

藤原小学校児童数17名、中学校5名(20130701 現在)

平均気温 9 度 最低気温 20 度 積雪量2m

森林の面積は？ → 約 55 千 ha、みなかみ町全体の 85%。人口は約2%！